

# **令和6年度 県政モニターアンケート調査**

**テーマ：災害時の備蓄について**

**福岡県総務部防災危機管理局防災企画課**

## 1 調査の目的

災害時は、断水、停電、ガス停止などライフラインへの影響に加え、流通機能の麻痺に伴い食料などの生活物資の入手が困難になる事態が想定される。

そのため福岡県では、日常の食料を多めに購入し、消費の都度買い足すことにより常に一定量の食材を保有する方法（ローリングストック法）を含め、飲料水、食料などの生活物資を3日以上備蓄に努めるようふくおか県政出前講座等で呼びかけている。

そこで現在の県民の備蓄意識、各家庭における食料などの備蓄の状況を把握し、今後の施策の参考とする。

## 2 調査時期

令和6年9月11日～令和6年9月30日（第3回）

## 3 回答者の構成

		計	北九州	福岡	筑後	筑豊
総数	-	362 (100%)	90 (24.9%)	189 (52.2%)	55 (15.2%)	28 (7.7%)
性別	女性	188 (51.9%)	47	96	29	16
	男性	171 (47.2%)	41	92	26	12
	その他	3 (0.8%)	2	1	0	0
年代別	20代以下	49 (13.5%)	10	28	7	4
	30代	61 (16.9%)	17	30	11	3
	40代	76 (21.0%)	20	38	12	6
	50代	62 (17.1%)	15	34	10	3
	60代	74 (20.4%)	21	38	5	10
	70代以上	40 (11.0%)	7	21	10	2

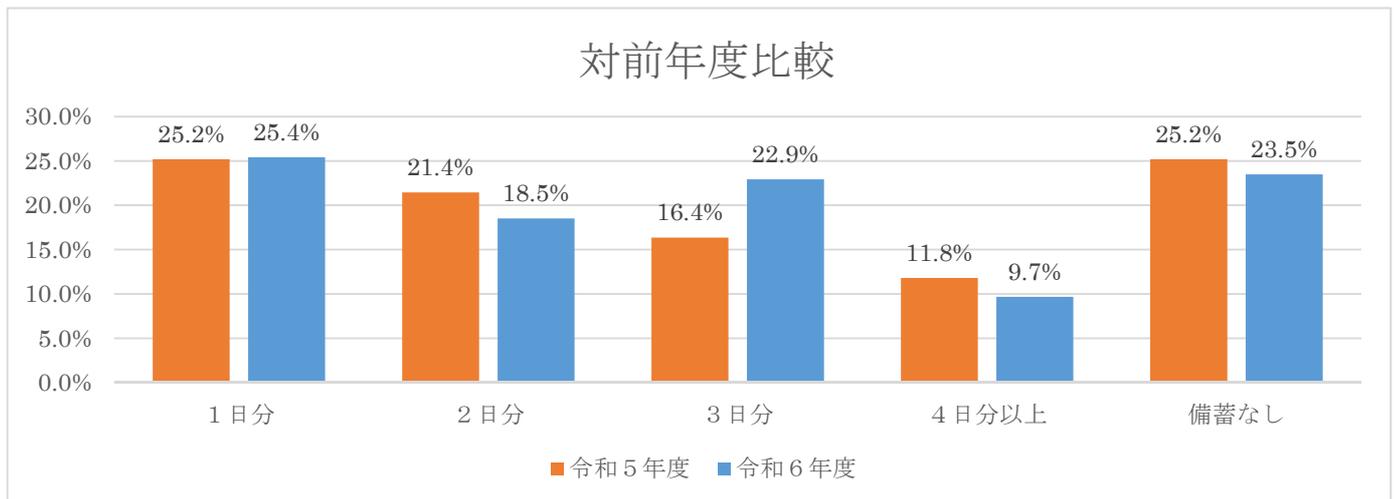
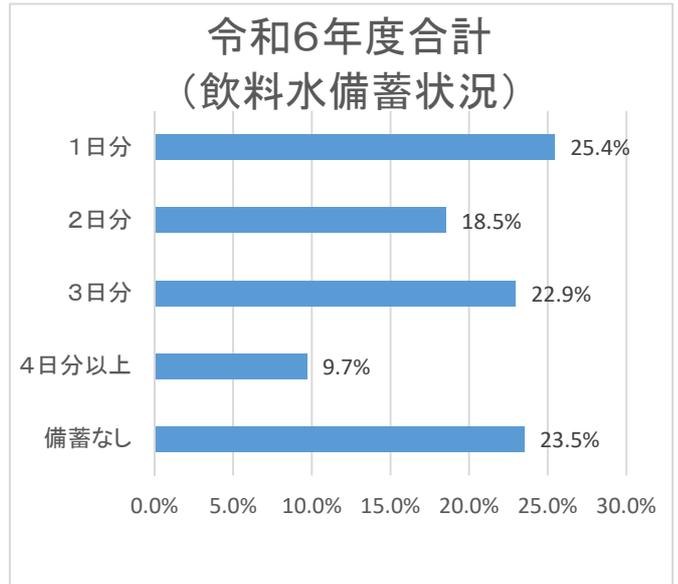
## 4 回答結果

問1 あなたは、飲料水を何日分備蓄（買い置き）していますか。（1つだけ選択）

- 1 1日分
- 2 2日分
- 3 3日分
- 4 4日以上（何日分か具体的に）
- 5 飲料水は備蓄（買い置き）していない

### 回答

	令和6年度 合計	令和5年度 合計	対前年度 増減
回答者数	362	373	-11
1日分	92	94	-2
	25.4%	25.2%	0.2%pt
2日分	67	80	-13
	18.5%	21.4%	-2.9%pt
3日分	83	61	22
	22.9%	16.4%	6.6%pt
4日以上	35	44	-9
	9.7%	11.8%	-2.1%pt
備蓄なし	85	94	-9
	23.5%	25.2%	-1.7%pt



問1-2 問1で「4 4日以上」を選択された場合は、何日分か具体的に回答してください。

### 回答 (抜粋) ※2人未回答

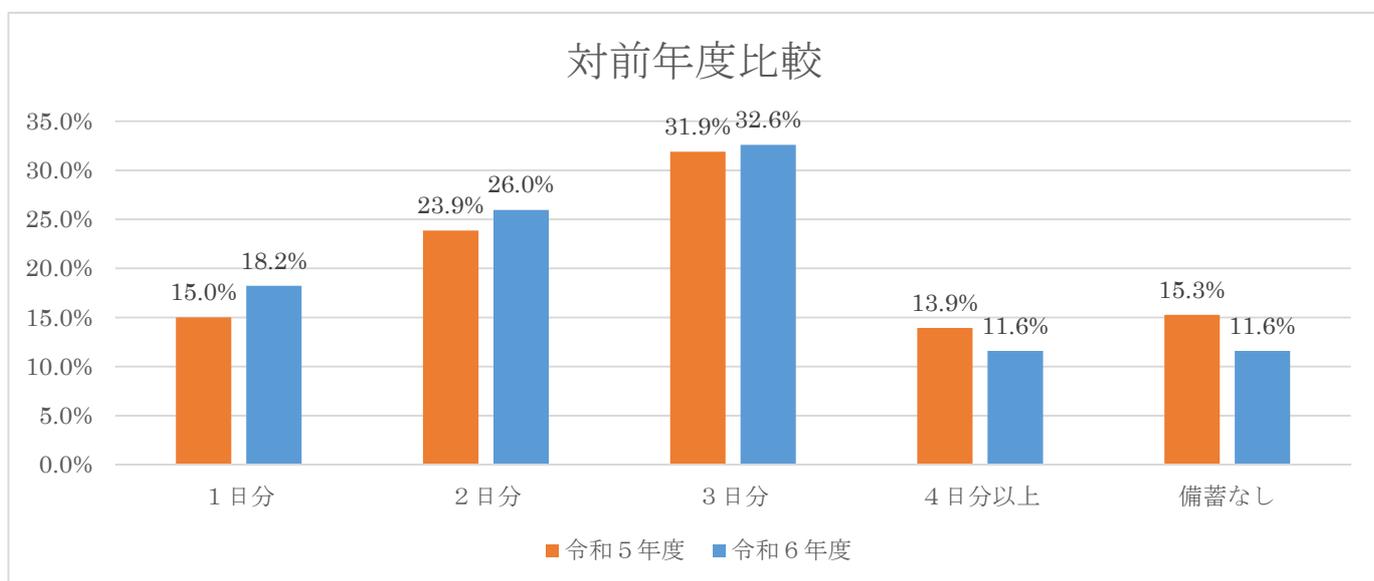
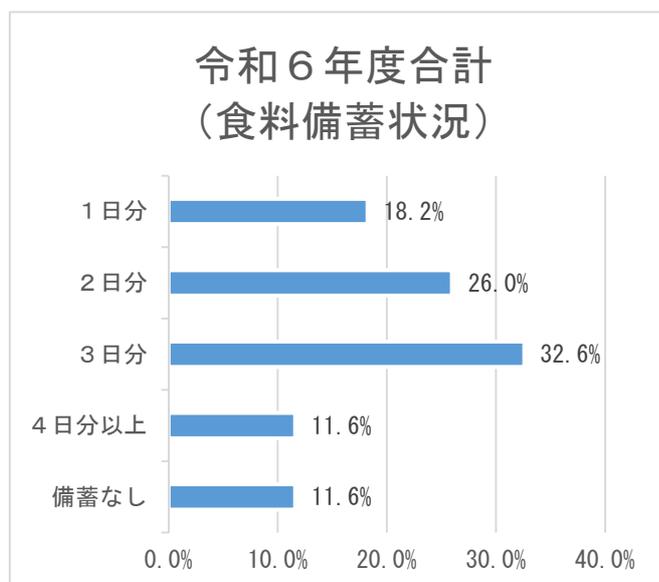
- ・ 4日分 4人
- ・ 5日分 3人
- ・ 6日分 2人
- ・ 7日分 10人
- ・ 8日分~14日分 9人
- ・ 15日以上 5人

問2 あなたは、食料を何日分備蓄（買い置き）していますか。（1つだけ選択）

- 1 1日分
- 2 2日分
- 3 3日分
- 4 4日分以上（何日分か具体的に）
- 5 食料は備蓄（買い置き）していない

**回答**

	令和6年度 合計	令和5年度 合計	対前年度 増減
回答者数	362	373	-11
1日分	66	56	10
	18.2%	15.0%	3.2%pt
2日分	94	89	5
	26.0%	23.9%	2.1%pt
3日分	118	119	-1
	32.6%	31.9%	0.7%pt
4日分 以上	42	52	-10
	11.6%	13.9%	-2.3%pt
備蓄なし	42	57	-15
	11.6%	15.3%	-3.7%pt



問2-2 問2で「4 4日分以上」を選択された場合は、何日分か具体的に回答してください。

**回答**（抜粋）※5人未回答

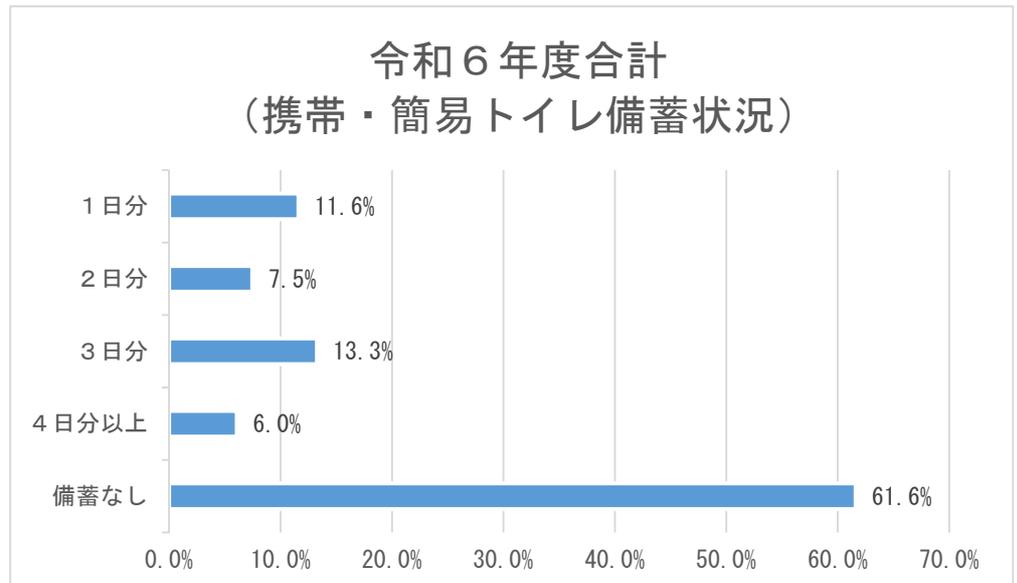
- ・ 4日分 2人
- ・ 5日分 3人
- ・ 6日分 1人
- ・ 7日分 24人
- ・ 8日分～14日分 7人
- ・ 15日分以上 0人

問3 あなたは、携帯・簡易トイレを何日分備蓄（買い置き）していますか。（1つだけ選択）

- 1 1日分
- 2 2日分
- 3 3日分
- 4 4日分以上（何日分か具体的に）
- 5 携帯・簡易トイレは備蓄（買い置き）していない

回答

	令和6年度 合計
回答者数	362
1日分	42 11.6%
2日分	27 7.5%
3日分	48 13.3%
4日分 以上	22 6.0%
備蓄なし	223 61.6%



問3-2 問3で「4 4日分以上」を選択された場合は、何日分か具体的に回答してください。

回答（抜粋）※1人未回答

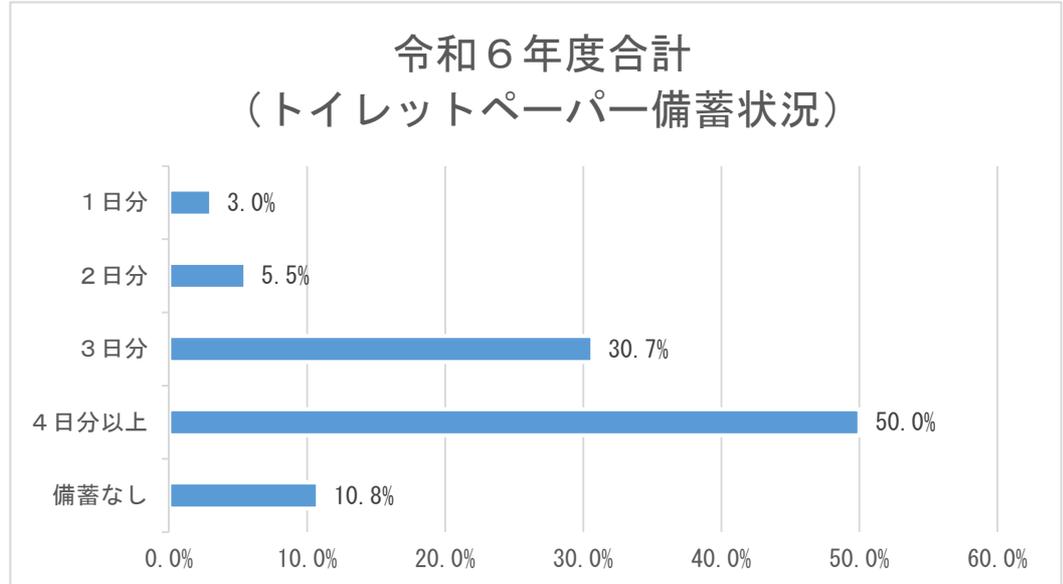
- ・ 4日分 3人
- ・ 5日分 1人
- ・ 6日分 0人
- ・ 7日分 10人
- ・ 8日分～14日分 5人
- ・ 15日分以上 2人

問4 あなたは、トイレトペーパーを何日分備蓄（買い置き）していますか。（1つだけ選択）

- 1 1日分
- 2 2日分
- 3 3日分
- 4 4日以上（何日分か具体的に）
- 5 トイレトペーパーは備蓄（買い置き）していない

**回答**

	令和6年度 合計
回答者数	362
1日分	11 3.0%
2日分	20 5.5%
3日分	111 30.7%
4日分 以上	181 50.0%
備蓄なし	39 10.8%



問4-2 問4で「4 4日以上」を選択された場合は、何日分か具体的に回答してください。

**回答**（抜粋）※25人未回答

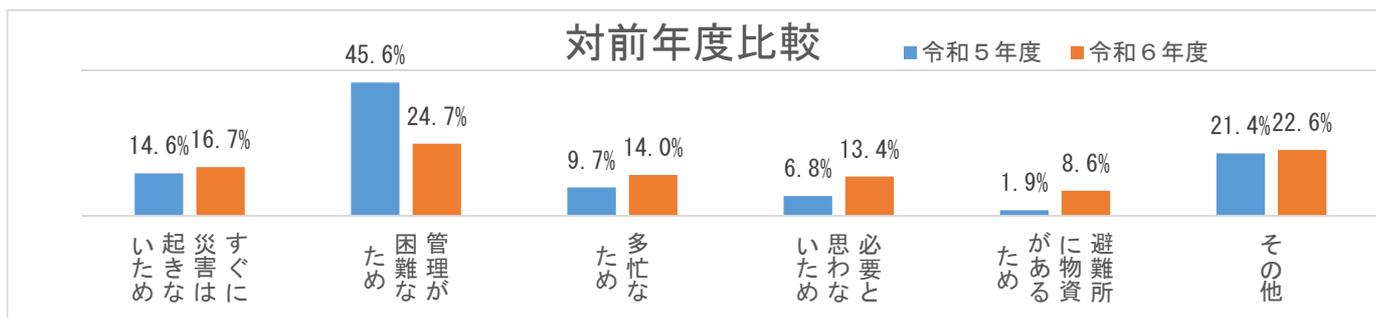
- ・ 4日分 0人 ・ 5日分 1人 ・ 6日分 1人 ・ 7日分 30人
- ・ 8日分～14日分 34人 ・ 15日以上 90人

問5 問1～4のいずれかで「5（備蓄していない）」を選択された方にお尋ねします。  
あなたが備蓄（買い置き）していないのはなぜですか。（1つだけ選択）

- 1 災害がすぐには起きないと思うから
- 2 消費期限等の管理が難しく、面倒だから
- 3 忙しく時間がないから
- 4 必要ないと思っているから
- 5 避難所に避難すれば必要な物資を供給してくれると思っているから
- 6 その他

**回答**

	令和6年度 合計	令和5年度 合計	対前年度 増減
回答者数	186	103	83
1 すぐに災害は起きないため	31 16.7%	15 14.6%	16 2.1%pt
2 管理が困難なため	46 24.7%	47 45.6%	-1 -20.9%pt
3 多忙なため	26 14.0%	10 9.7%	16 4.3%pt
4 必要と思わないため	25 13.4%	7 6.8%	18 6.6%pt
5 避難所に物資があるため	16 8.6%	2 1.9%	14 6.7%pt
6 その他	42 22.6%	22 21.4%	20 1.2%pt



問5-2 問5で「6 その他」を選択された場合は、その内容を具体的に回答してください。

**回答**（抜粋）

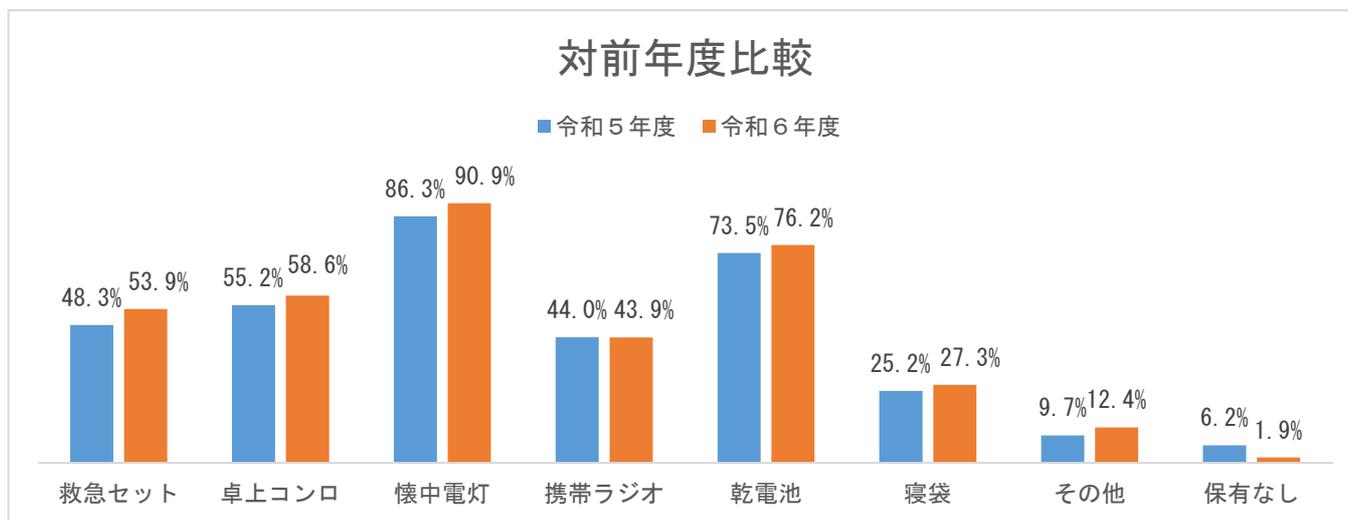
- ・ 備蓄を置いておくスペースを確保できないため。
- ・ 備蓄の必要量を知らないため。
- ・ 簡易トイレの備蓄に気が回らなかったため。

問6 災害時に役立つ生活物資として、どのようなものを保有していますか。  
該当するものをすべて選んでください。

- |               |                  |
|---------------|------------------|
| 1 救急セット       | 5 乾電池（買い置き分）     |
| 2 卓上コンロ・ガスボンベ | 6 寝袋             |
| 3 懐中電灯        | 7 その他（具体的にいくつでも） |
| 4 携帯ラジオ       | 8 特に保有していない      |

**回答**

	令和6年度	令和5年度	対前年度		令和6年度	令和5年度	対前年度
回答者数	362	373	-11	乾電池	276	274	2
					76.2%	73.5%	2.8%pt
救急セット	195	180	15	寝袋	99	94	5
	53.9%	48.3%	5.6%pt		27.3%	25.2%	2.1%pt
卓上コンロ・ガスボンベ	212	206	6	その他	45	36	9
	58.6%	55.2%	3.3%pt		12.4%	9.7%	2.8%pt
懐中電灯	329	322	7	保有なし	7	23	-16
	90.9%	86.3%	4.6%pt		1.9%	6.2%	-4.2%pt
携帯ラジオ	159	164	-5				
	43.9%	44.0%	0.0%pt				



問6-2 問6で「7 その他」を選択された場合は、その内容を具体的に回答してください。

**回答**（抜粋）

・生理用品 ・モバイルバッテリー ・除菌シート ・ティッシュ ・マッチ ・スリッパ ・使いす  
て歯ブラシ ・タオル ・大人用おむつ ・軍手 ・マスク ・カイロ ・ビニールシート ・ビニール  
袋 ・ライター ・ろうそく ・汗拭きマット ・防災用毛布 ・給水バッグ 等

問7 災害時の備蓄について、これまでの設問以外に意見がありますか。

(抜粋)

- ・長年にわたり大きな災害がなく、備蓄や避難の必要性を感じない。他地区が被害を受けたら、自分の地区にも影響があることは分かっているが。(北九州市在住)
- ・備蓄するのはいいが常に水や食料品の賞味期限を把握しておき定期的に入れ替える必要があると考えます。
- ・単に備蓄の必要性だけが求められると、今回のような米の不足・高騰が起きてしまいます。買い占めやその後に予想される備蓄品の大量廃棄が生じないように、行政や企業、自治会が連携した「備蓄リテラシー」向上への取り組みが求められています。
- ・色んなところで売っているものが防災グッズや備蓄セットがあるけど、何を買っていいかわからないので県で売ってくれたらわかりやすいかも
- ・具体的に何を何日分備蓄が、必要か具体的不明。
- ・各自は備蓄をするのは難しいと思います。
- ・備蓄品を持つ人を増やすため、備蓄品限定の割引チケットを定期的に応用で配信しては
- ・保存期間や保管場所に困るので、どのくらいが適度な量が難しいと思う。
- ・どういう備蓄品が必要か、各家庭にひと目で分かるパネルのようなものを配布してほしい。
- ・どのくらいの量がどこにストックしてあるかもっとアピールしてほしい。災害時はその場所に備蓄品をもらいに行くと思います。
- ・町内会の公民館に備蓄して、いざという時に住民が使えるようにしたらどうでしょうか。
- ・災害時に即、県民に行政が役立てるのか疑問です。必要なものの一覧表を県の広報誌などで知らせたら、県民が今以上のものをそろえることになると思います。
- ・災害専用も持っていたが、賞味期限切れになることが多く、日頃食べるものを長持ちするものを用意する、といった感じになっている。
- ・避難所に行ったらどうにかなるんでしょ？と、備蓄について自分とは関係ないこととして考えている人がまだ一定数いると思います。
- ・質問に答えることが今後の備蓄をもう少し増やそうと思うきっかけになりました。
- ・県民が1人、1人自助を考えないと、自分にあつた生理用品、アレルギー対策の食糧、常備薬が手に入らないなど共助に頼らない部分もあるため、常日頃より蓄えて置く必要がある。
- ・例えば二人の世帯だと備蓄はどのくらい必要になりますか？分からないのであまり備蓄品を保有していません。
- ・3.11を埼玉で体験した時水は飲料水用も必要だしとマンションのトイレが計画停電で流せなくてお風呂に貯めた水で流していました。飲料水は一箱単位で買い置きしていたので助かった。開いてるスーパーも自販機も売り切れ、乾電池も凄まじく無くて備蓄必須。後、備蓄とは外れませんが現金も手元に必要。冷食は停電すると困りました。
- ・災害に必要なものや対策は季節や災害の種類、家庭の人数や構成によって大きく変わると思います。
- ・各自の環境の中で最小限でも備蓄を準備しておくという意識と行動が実際に何か起こった場合に自分と周りの人を助ける事に繋がると思います。
- ・災害のあまり起きない九州エリアなので、災害への意識が高まっていないと反省いたしました。(携帯トイレなど、必要なものが思いつかなかった)これを機に意識を高く持たなければと改めさせられました。
- ・実際に災害にあつたことがないので実感しにくく備蓄もなんとなく感じになってしまうので、実際施設で電気なし水道なしみたいな状況での宿泊訓練みたいなことをして備蓄の種類や数を考えてみたい。